



令和8年度 舎監通信

令和8年5月15日発行

松濤学舎HP



SHOUTOU-GAKUSYU

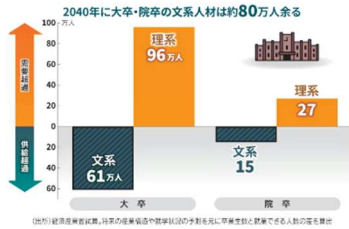
For your SHOTO Vol.4

公益財団法人 松濤学舎
佐賀育英会

文責 舎監 下村昌弘

人文学も自分の専門を強みに —がんばれ文系学生！—

経済産業省は2026年3月に「2040年の就業構造推計(改訂版)」を公表しました。この推計によると、AI・ロボットの普及を前提とした2040年の日本では、大卒・院卒の文系人材が約80万人余剰となる一方、理系人材は約120万人不足するという、「需給ミスマッチ」が浮き彫りにされました。これを受けて日経新聞では4月27日に特集を組んでいます。



少子化による人手不足が叫ばれる中、なぜ文系人材だけが「余る」のでしょうか。その背景には、AIやロボットが事務職を代替していく産業構造の変化と、企業の採用基準が「学歴・文理区分」から「スキル」へとシフトしている現実があるようです。

こうした中、大学では文理融合の教育が進んでいます。(高校もこの傾向にあります。)例えば、理系的知見を使うデータサイエンスは、文系でも必須の学びと位置付けられているのが普通ではないでしょうか。皆さんもそれを実感していると思います

先日、佐賀育英会の会議で理事の一人は「新卒レベルがやっていた仕事はAIがやってくれる時代になった。これからはAIを使って新しい価値を創出していく人が生き残れる。自分がやっている仕事の進め方もあと10年くらいしかもたないだろう」と危機感を募らせておられました。

とはいえ、今なお文理の別が残り、松濤学舎にも相当数の文系学生が存在する以上、不安だけをおおっても仕方ありません。そこで「文理の壁を越えて考える思考法を身につけよう!」と、メールを送りたいと思います。

昨年、講演に来ていただいた大川内直子氏は記憶にある人も多いでしょう。文化人類学をビジネスに応用して新しいサービスを構想しておられました。文化人類学に特徴的な「包括的な思考」や「参与観察」をベースに新しいビールの販売促進を提案された話は衝撃的でしたね。

つまりは、文系の学びを応用し、それを強みにするという事です。そしてその文系的素養を生かすためにはデータサイエンスなど武器となるスキルを身につけ、それをいかに応用していくかが大切になります。

その大前提として改めて皆さんに言いたいのは「自分の専攻学問を自分の中にしっかり落とし込みなさい」ということです。落とし込めたものだけがはじめて自在に使えるようになるのであり、それが自分の強みとなるからです。

右上に、新聞に掲載されていた3氏のコメントを紹介します。大いに励みにしてください。

文理の壁を越えて活躍する人材

 アカリク 伊沢鑑敦さん 日本史学 エンジニアとしてサービスへのデータやAIの活用を推進 歴史など数値化できないデータを扱う能力は答えのない問題の解決に役立つ	 NTT社会情報研究所 横山実紀さん 人間科学 社会実装を視野に集団で意思決定する際に役立つ技術を研究 AI時代では目に見えない人の感情の分析に倫理や哲学的アプローチが重要だ	 ヤマハ発動機 末神翔さん 心理学 「人間に関する研究を主導し、マーケティングなどを支援」 視点や考え方という“武器”を持ってれば、文系の活躍の場は必ず広がる
---	--	---

出来ない理由を並べるよりももっと楽しいことを —弁証法的な考え方で—

ラジオを聴いていると特集テーマのコーナーで SNS による視聴者からのリアクションを即座に

※HPに「寮生活のひとコマ」と「舎監室の窓から」を随時更新掲載しています。(上記QRコードからぜひ覗いてみてください。)

紹介する場面が時々あります。「エックスからの投稿で、夢見るスワローズ男さんからの意見です」みたいに。

4月21日、朝の番組で「デジタル技術で体育の授業はどう変わる?」という内容が紹介されていました。例えば、跳び箱の授業で足裏センサー、VRを活用し見えにくい動きを客観的に見る。



火曜7時台 デジタル技術で体育の授業はどう変わる?ここに注目!気象
放送開始: 2020年4月21日

そこで主体的に気づく授業ができる。持久走の授業でスマートウォッチを使い心拍数を計測する。順位やタイムを競うのではなく文字どおり持久力を高めることを目標にできる。サッカーでドローンやモーションセンサーを使い、みんなで戦略を練り直す。等々。

私も2011年(H23)、佐賀県が全国に先駆け、一人一台端末導入に着手した際にICTを生業にしていただけに、使う技術の幅が広がったなあと感心して聞いていました。内容的にはこれからの時代に必要なデータサイエンスの基礎的な学びにもなっていると感じました。

しかし、違和感があったのはエックスからの投稿です。番組内では16の意見が紹介されました。そのうち私が聴く限り、賛成が4つ、否定が10、どっちともつかないのが2つでした。圧倒的にダメ出しが多い。例えば否定的な意見としては「データが多すぎて消化できない」「客観的に見せられるとダメさ加減が際立つ」「アスリートじゃあるまいしつまらなさそう」といったもの。

どの反論もそれ自体としては間違いではないけど、一面をとらえているに過ぎないような気がしたのです。そういう意見が出ると途端にうんざりします。文句のように聞こえてしまうからです。

出来ないことを並べるのではなく、クリアするためにどうするかを考える方がずっと楽しい。それが弁証法的な思考(正・反・合。アウフヘーベン)ができなければなりません。

加えて、SNSで寄せられた意見の末尾は「~かなあ」「~みたいねー」「~してほしい」「~だよ」といった調子が多かったです。それは演出なのか、それともそのままの表現なのか…。

これが実際に送られてくるコメントそのものだとすると、所詮責任を取らない“勝手な”感想にすぎない感が際立ちます。それをわざわざ公共の電波で紹介する意図はどこにあるのでしょうか。これが世間一般のとらえ方だというメッセージなのでしょう。最近、こうした風潮にあることに一抹の不安を感じています。何か大きな問題提起をされているような気がします。

Never excuse yourself!(言い訳をするな)出来ない理由ならすぐにでも作れます。でもそこからは何もいいこと生まれません。

でも、この意見も「所詮個人の感想ですよ」と切り捨てられるのでしょうか。くわばら、くわばら。

月	日	曜	行事等
5	17	日	探究教室←上級生も参加可。一年生は全員集合～!
5	18	月	業者床清掃・電気点検(9時~12時)
5	24	日	英会話教室
5	26	火	佐賀県内高校長による松濤学舎見学会
5	27	水	佐賀育英会評議員会(半蔵門)

※5/18(月)~6/26(金)は面談月間です!



【武蔵野の風】先日、若くして亡くなった元同僚の夢を見た。脳出血の突然死だった。舎生の中にもその先生から薫陶を受けた者がいるだろう。東大の問題を教材にオールイングリッシュでディスカッションベースの授業ができる指導力だった▼甲辞を讀んでほしいとご家族から依頼されたが、式に遅刻せざるを得ず、書いたものをお渡しすることしかできなかった。それが心残りだった▼夢の中で病が治った彼を見て「そういうこともあるんだねー、冬眠から覚めたようなものかな。よかったねー。でも、そんな大事なこともみんなまだ知らないんじゃない?」と話した▼「後で考えれば不思議だったが、この超自然の怪異を素直に受け入れて少しも怪しもうとしなかった」とは中島敦の『山月記』の一節。夢の中の私も同じだった▼スピリチュアルな夢をあまり見たことがないが、ちょうど彼の葬儀から1年にあたる日の朝だった。彼は東京に出た私に何かを伝えに来てくれたのだろう。お盆にはお参りに行くと思う。(月口)